

わ
が
市

茅ヶ崎市

自然と人が
ふれあう心豊かな
快適都市

茅ヶ崎市は神奈川県の中南部に位置し、市域は海岸線から北部に広がっており、湘南砂丘と河川沖積平原、なだらかな丘陵からなっています。気候は四季を通じて温暖で、夏涼しく冬は暖かく、年間の平均気温も摂氏十七度と自然に恵まれており、明治時代後半から戦前にかけては湘



南有数の別荘地でありましたが、その後東京や横浜への交通の利便性や恵まれた自然環境を背景に、急激な都市化が進み、平成元年十二月に人口が二十万人を超えました。このような都市化の進行により、緑が徐々に失われつつあるのが茅ヶ崎市の現状です。そこで「自然と人がふれあう心豊かな快適都市・茅ヶ崎」の実現に向けて、街づくりの中で緑が担うべき役割を総合的に推進することを目的として、平成七年度に茅ヶ崎市緑の基本計画を策定し、この計画を実効あるものとするため、市民や事業者の参画を得ながら各種の施策を実施して参りました。

現在市内には一四八箇所公園緑地があります。その中で「市民の森」

は茅ヶ崎の北部丘陵にあり、自然とのふれあいを大切にしたいの場として、自然の景観を壊さないように自然の起伏を利用した散策路、広場策が設置され、必要以上に人の手を加えず本来の植生を生かしているため、四季折々の自然を楽しむことができます。

また茅ヶ崎には椿の名園、氷室椿庭園があります。元三井不動産の副社長であった故氷室捷爾氏の庭園を遺族が茅ヶ崎市に寄贈したもので、広さ二、八〇〇㎡の和風庭園には椿や松・バラなど一、三〇〇本におよぶ庭木類が植えられています。

椿の品種は約二五〇種一、〇〇〇本あり、中でも「氷室雪月花」は氷室氏自身が作り出したもので、淡桃色の地に紅色の紋が入った美しい品種です。椿の季節には遠方からもたくさんの人々が訪れます。

緑化事業については、市内に残された貴重な緑地を市民共有の財産として保全するため、「茅ヶ崎市緑のまちづくり基金」を設置しました。

また、樹木センター、樹苗園を設置して、市民からの不要樹木の受け入れ、育成・還元を行ったり、市の花である「つつじ」の苗木を育成・栽培し、公共施設等へ配布して環境の整備を図っています。

この他に生け垣奨励制度によって、

生け垣の維持管理にかかる費用の補助を行ったり、面積が五〇〇㎡以上で美観上優れている保存樹林約四四〇〇〇㎡を指定しています。

毎年四月にはみどりフェア茅ヶ崎が開催され、剪定枝を使った汽車や独楽づくりなどの木工教室や、ウッドバーニング教室、公園のクスギヤナラを原木に使っての椎茸栽培、限られたスペースの緑化見本園の展示、緑の里親ボランティアの紹介、緑の相談所開設等を行い、多くの来場者で賑わいます。

今後も「自然と人がふれあう心豊かな快適都市」の実現に向けて、一歩一歩着実な歩みを続けてまいります。

茅ヶ崎市市民経済部農政課

